

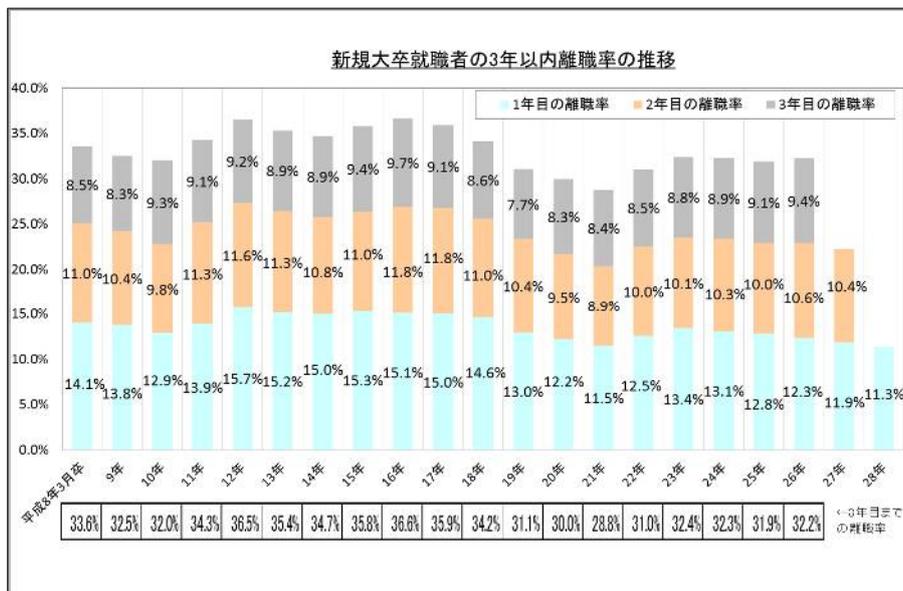
新規大卒就職者の 3年以内の離職率は 32.2% !

旺文社 教育情報センター 平成 29 年 10 月

厚生労働省がさきごろまとめた「新規学卒就職者の離職状況」によると、平成 26 年 3 月に卒業した新規大卒就職者の 3 年以内の離職率は、全産業平均で 32.2% だった。大学選択の志望理由のひとつに“就職実績”が挙げられるが、様々な要因があるにせよ、新規大卒就職者の 3 年以内の離職が 3 人に 1 人という状況が続いている。

＜新規大卒就職者の離職率の推移＞

26 年 3 月に卒業した新規大卒就職者 427,932 人のうち、3 年以内に離職したのは 137,962 人で、離職率は 32.2% となり、前年より 0.3 ポイントアップ。過去 30 年間を見ると、6 年までの 20% 台、21 年の 28.8% を除き、30% 台が恒常的となっている。同省では、就職内定率が低い時に卒業した者の 3 年後の離職率は高くなる傾向があるとしている。



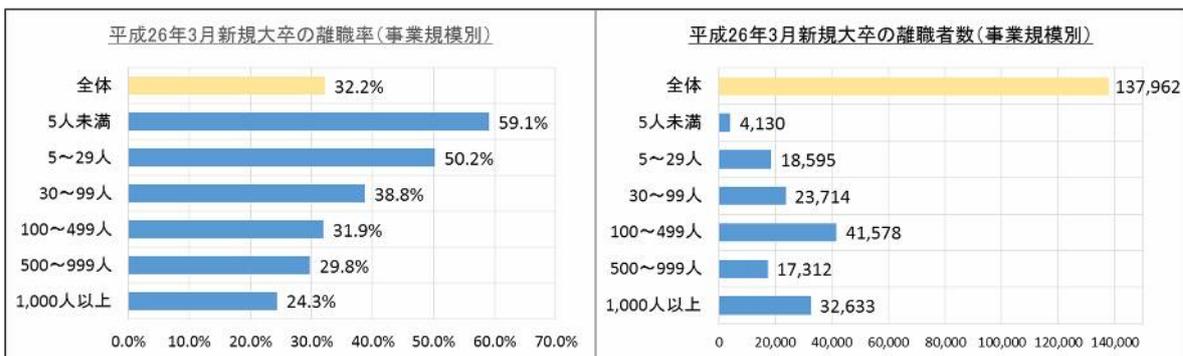
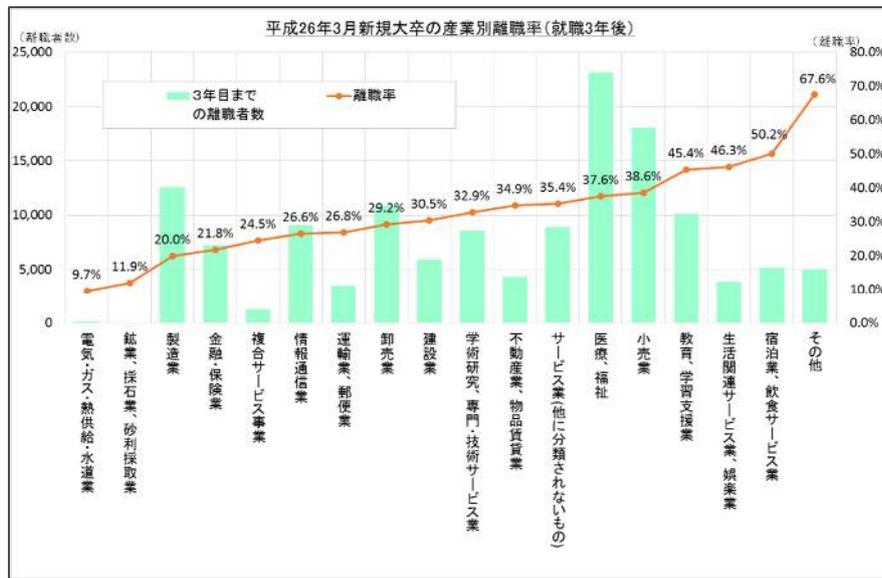
* データ：厚生労働省資料（平成 29 年 9 月 15 日）

- ・この資料は、新規学卒として雇用保険に加入した者が対象で、その離職日から離職者数・離職率を算出。
- ・3 年目までの離職率は、四捨五入の関係で 1 年目～3 年目の離職率の合計と一致しないことがある。
- ・就職者数は基本的に卒業年次の 6 月末で確定するが、事業所の手続きの関係で、1 年目、2 年目、3 年目で若干の変動がある。
- ・離職者数、離職率は、「2 年目」の数値は 1 年目までの離職者を含む 2 年目までの離職者数と離職率、「3 年目」の数値は 2 年目までの離職者を含む 3 年目までの離職者数と離職率を記載。

<産業別、事業規模別の離職率>

産業別の離職率の差は非常に大きく、電気・ガス・熱供給・水道業の9.7%、鉱業・採石業・砂利採取業の11.9%などに対し、宿泊業、飲食サービス業は50.2%、生活関連サービス業・娯楽業は46.3%などとなっている。離職者数では、医療・福祉が新規大卒就職者61,628人のうち、3年以内の離職者が23,143人（離職率37.6%）で最多となっている。

一方、事業規模別の離職率では、5人未満の事業所が59.1%と最も高く、1,000人以上は24.3%で最も低い。また離職者数では、100人～999人の事業所が41,578人で最多となっている。



<その他の校種の離職率>

- ・短大卒＝41.3%（新規短大卒就職者138,730人のうち、3年以内の離職者57,259人）
- ・高卒＝40.8%（新規高卒就職者170,591人のうち、3年以内の離職者69,588人）
- ・中卒＝67.7%（新規中卒就職者1,274人のうち、3年以内の離職者862人）

ここ数年の離職率の推移は、短大卒が41%程度、高卒が39～40%程度、中卒が62～68%程度となっている。